

## 大村市内の小・中学校におけるPTAの現状と課題

社会教育課

## 1 「PTA」とは

PTA (Parent-Teacher Association の略語) は、社会教育関係団体の一つである。

## 【社会教育関係団体】

法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。(社会教育法第10条)

※PTA、子ども会、青年団、婦人会等

PTAは、「子どもたちの健全な育成を図ること」を目的に、会員である保護者と教職員が協力して、下のような活動を行う自主的な団体である。

- 家庭教育及び学校教育についての学習をはじめ、成人教育に関する諸活動を行う。
- 子どもたちの学校外における諸活動や健全育成に関する活動を行う。
- 地域の教育環境の改善を図る活動を行う。
- 地域の方々や各種機関・団体と連携し、協力を図る。

(出典：長崎県教育庁生涯学習課『PTAなび』5ページ)

## 2 PTAの誕生 (長崎県・全国)

昭和21年10月 文部省内に「父母と先生の会委員会」を設置

昭和22年3月 「父母と先生の会委員会」が「PTA結成の手引き」を作成  
(手引書は、全国都道府県知事宛てに文部事務次官名で送達)

昭和23年4月 全国の小・中学校の約7割がPTAを設置

昭和24年9月 長崎県PTA連合会設立

昭和25年1月 小学校の93%、中学校の89%がPTAを設置

昭和27年10月 「日本父母と先生の会全国団体結成大会」の開催(全国団体結成)

(参考：長崎県PTA連合会HP『連合会案内/連合会概要』)

(参考：日本PTA全国協議会HP『日本PTAのあゆみ/第1章 PTAの誕生と発展』)

## 3 PTAの加入状況 (長崎県・全国)

県内の会員数 86,112人(令和4年度) ※1

全国の会員数 約800万人 ※2

※1 長崎県PTA連合会に加入している会員数(長崎県PTA連合会確認)

※2 公益社団法人日本PTA全国協議会に加入している会員数(参考：日本PTA全国協議会HP『日本PTA全国協議会とは/組織について』)

#### 4 大村市のPTAの現状

##### (1) PTAの主な活動

研修会の開催、広報紙の発行、校内外の美化活動、運動会など学校や地域行事への運営協力、防犯活動など。

##### (2) PTAの加入状況

市内小・中学校のPTAの会員数（世帯数＋教職員数）は下記のとおり。  
ほぼ全世帯がPTAに加入している状況である。

大村市立小・中学校PTAの会員数	8,037人
------------------	--------

(参考：令和5年度大村市PTA連合会定期総会資料)

#### 5 PTA活動の良い点

- |   |
|---|
| (1) 学校に行く機会が増え、子どもの様子がよくわかる。<br>(2) 教職員とよく話ができるので、学校の考え方などがわかりやすい。<br>(3) 教職員だけでなく、保護者に知り合いが増え、いろいろな情報が入りやすい。 |
|---|

(参考：大村市PTA連合会顧問（前会長）資料)

#### 6 PTA活動の課題

全国的によく言われるPTAの問題点

- |  |
|--|
| (1) 加入が強制的<br>(2) 役員のなり手が少ない<br>(3) 役員（係）の仕事がきつい<br>(4) 頻繁にある集まりが苦痛 など |
|--|

(参考：大村市PTA連合会顧問（前会長）資料)

⇒これらの問題を解決していくために取り組むべきことが「課題」